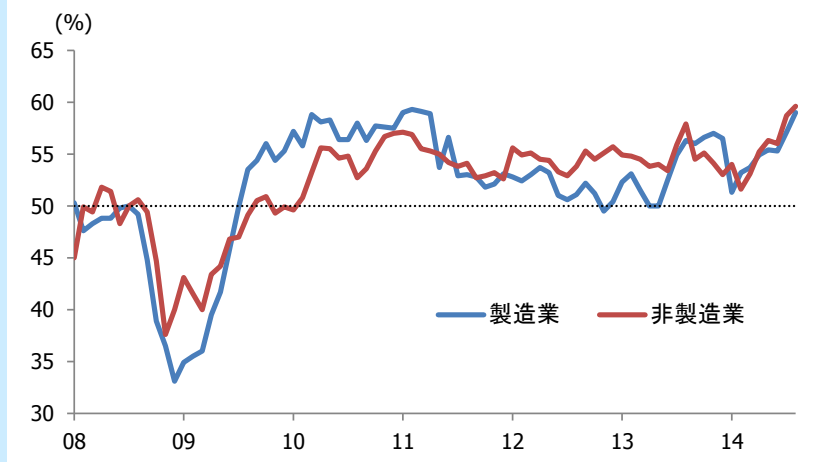


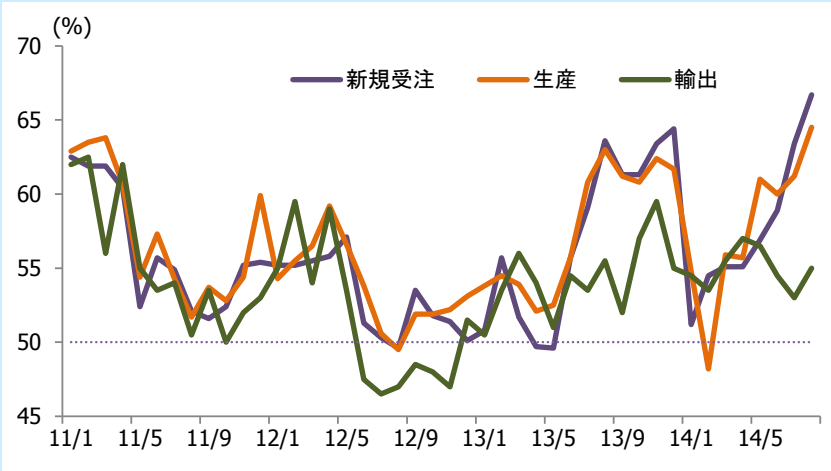
# 米国：ISM景況指数（2014年8月）

## MRI Daily Economic Points September 5, 2014

### 図表1 総合指数



### 図表2 新規受注、生産、輸出指数（製造業）



資料：米供給管理協会

Copyright (c) Mitsubishi Research Institute, Inc.

### 評価ポイント

#### 今回の結果

- 8月のISM製造業景況指数(総合、9/2日公表)は、59.0と前月(57.1)から上昇。11年3月以来の水準で、製造業の拡大・縮小の分岐点である50を15ヶ月連続で上回った。
- 項目別にみると、雇用(58.1)、入荷遅延(53.9)が小幅低下した一方、新規受注(66.7)、生産(64.5)、在庫(52.0)が上昇。50を上回り生産活動が拡大した業種は18業種のうち17業種であった。
- 8月のISM非製造業景況指数(総合、9/4日公表)は、59.6と前月(58.7)から上昇。現行の統計基準の開始以来(08年1月)、もっとも高い水準に達した。非製造業の拡大・縮小の分岐点である50を55ヶ月連続で上回った。
- 項目別にみると、新規受注(63.8)が低下した一方、ビジネス活動(65.0)、雇用(57.1)、入荷遅延(52.5)が上昇した。また、50を上回り生産活動が拡大した業種は18業種のうち15業種であった。

#### 基調判断

- 堅調な国内消費と海外輸出の緩やかな回復を背景に、米企業の景況感は改善傾向が続いている。地区連銀経済報告(ページブック、9/3公表)においても、足もとでは、企業活動が製造業・非製造業ともに拡大していると報告されている。

#### 今後の流れ

- 先行きも、企業活動は緩やかなペースで拡大を続けるとみられる。
- ただし、①FRBの量的緩和政策の終了(10月の見込み)を控え、先行きの金融政策の見方の変化から長期金利が急激に上昇する可能性や、②11月の中間選挙の結果次第では、財政政策の不確実性が高まる恐れには留意が必要である。